

## 広島県地震年表

発生年	発生日 / 内容
仁和 3(887)	7-30 諸国に大地震がある〔三代実録〕。
治承 4(1180)	9-28 厳島で大地震〔(県)山槐記〕。
元治 2(1596)	閏 7- 9~12 大地震〔仏通禅寺住持記〕。
	閏 7-10 夜前, 大地震。厳島神社の神殿・廻廊・経堂は無事〔(県)厳島野坂 1349〕。
寛永 1(1624)	12-13 広島に大地震が発生し, 城中石垣・多門・楼・塀など崩壊する〔自得公済美録 18〕。
慶安 2(1649)	2- 5 広島藩領内に大地震。侍屋敷, 町家の被害多大〔玄德公済美録 20〕。
寛文 2(1662)	10- 広島領郡中に大地震〔芸州府中荘誌〕。
貞享 1(1684)	12-10 地震。民家破損多く, 死人あり〔芸備年表〕。
貞享 2(1685)	12-10 広島大地震, 家屋の倒壊多数〔顕妙公済美録 14〕。
宝永 4(1707)	10- 4 数度大地震, 広島城中損壊あり, 広島領内全壊家屋 78 軒, 半壊家屋 68 軒〔顕妙公済美録 36〕。
享保 18(1733)	8-11 未上刻大地震, 広島領内奥郡に被害多し〔広島市史 2〕。
寛延 2(1749)	4-10 広島に地震〔広島市史 2〕。
安永 7(1778)	1-18 安芸から備前にかけて大地震起こる〔近世 2〕。
天保 12(1841)	9-20 地震〔広島市史 3〕。
嘉永 7(1854)	6-14 広島地震〔広島市史 3〕。
	11- 4~ 5 芸備両国に大地震〔芸藩志 5・中村家日記〕。
	11- 福山藩, 地震につき安全祈禱を執行する〔山手・三谷家「御用状願書帳」〕。
安政 2(1855)	1~2 昨年の大地震の余震止まず, 豊田郡御手洗町では, 前年 12 月晦日・当年 1 月 18 日・2 月 5 日と余震あり〔御手洗町用格別覚〕。
安政 3(1856)	1- 2 大地震あり, 12 日まで続く〔庄原市史〕。
安政 4(1857)	8-25 大地震。9 月 4 日まで毎日小震あり。9 月 10 日再び強震あり〔近世 2〕。
安政 5(1858)	12- 2~12 広島大地震, 数日の間余震絶えず〔広島市史 3〕。
安政 6(1859)	9- 9 大地震, 11 日再震〔広島市史 3〕。
慶応 3(1867)	2-30 やや強き地震あり〔広島市史 3〕。
明治 5(1872)	2- 6 午後 3 時すぎ浜田沖を震源とする大地震発生, 安芸国各郡に被害。家屋倒壊 63 軒, 往還小道路等損壊 254 か所, 負傷者 3 人, 堤防川岸破損 169 か所, 田畑損壊 93 か所。
明治 38(1905)	6- 2 午後 2 時 39 分頃, 広島地方に大地震(芸予地震)。震源地安芸灘(北緯 34.2 度, 東経 132.3 度)。マグニチュード 7.6, 広島震度 5。県内の死者 11 人, 負傷者 154 人, 家屋全潰 50 戸, 同半潰 98 戸, 同破損 6074 戸。
大正 12(1923)	(9- 1 関東大震災。)
昭和 21(1946)	12-21 地震による津浪のため県内東部沿岸部を中心に被害(負傷者 3, 全壊 46 戸, 半壊 1064 戸, 火災全焼 1)〔中国 12. 22〕。
昭和 24(1949)	7-12 安芸灘地震。死者 2 人。
平成 13(2001)	3-24 平成芸予地震。死者 1 人, 負傷者 193 人, 家屋全壊 65 棟。